

救給カレーの活用事例 北から

⑭ (公財)岡山県学校給食会

H27.7.1付け県学給だより192号にて、5頁にわたり「救給カレー」の特集記事が生まれ、広く紹介されました。

県学給だより
岡山県学校給食会会報

⑪ 鳥取県境港市学校給食センター

10月6日
鳥取県西部地震が起きた日に因って防災給食が実施されました。



⑨ 富山県砺波市内の小中学校 救急の日

9月9日に防災給食が実施され、テレビニュースでも放映されました。



⑬ 広島県海田町立海田南小学校

9月17日
救給カレー、牛乳、ツナポテのチーズ焼き、うずら卵のスープ煮



⑫ 兵庫県立芦屋特別支援学校

児童生徒職員すべてがこのセットを教室に用意。何事もなければ1月17日に献立化される予定です。



⑩ 滋賀県彦根市立河瀬小学校

9月1日
市内全ての小学校で防災給食を実施。献立は救給カレー、スパニッシュオムレツ、キャベツのスープ煮、ヨーグルト、牛乳。



⑯ 愛媛県西条市立神拝小学校

9月2日
防災給食として、救給カレーを牛乳、すいとん、バナナと一緒に。



⑰ 熊本県八代市西部学校給食センター

9月1日
救給カレー、牛乳、わかめごはん(おにぎり)、ラビオリスープ、プチトマト、デザート(中学生向け)



⑱ 鹿児島県日置市立東市来学校 給食センター

9月9日、「救急の日について考えよう」というテーマで実施。献立は救給カレー、牛乳、クイッテオスープ、コーンジュウマイ、茹でほうれん草、バナナ(中学生のみ)。今回使用したのは昨年度購入。今年度購入分は来年度使用予定。

北から

① 札幌市立もみじの森小学校

3月11日、東日本大震災への「思いを寄せる会」の一環として非常食体験給食を実施。配膳前には各教室で担任が主旨を説明。全校で被災後の三段階の食事としての給食『備蓄品をそのまま食べる(救給カレー)、届けられた救援物資(牛乳・みかん)、ボランティアによる炊き出し開始(すいとん汁)』を体験し、被災地に思いを馳せました。



② 岩手県盛岡市立月が丘小学校

今年5月より来年3月11日まで備蓄し、その後献立化する予定です。

⑤ (公財)福島県学校給食会

同給食会倉庫に救給カレー1万食を常時在庫されています。これにより、県下で起きる災害をはじめ、それ以外のさまざまなアクシデントにも緊急対応が可能になります。



④ 秋田県北秋田市内の小中学校

5月26日、秋田県民防災の日(防災の日)に防災給食として使用。献立は、救給カレー、乾パン、豚汁、ペビーチーズ、牛乳(中学生にはおにぎりを追加)

⑥ 埼玉県川口市立芝富士小学校



2015.10.9.
災害時、インフラが完全に止まったことを想定して実施した宿泊防災訓練の夕食に使用されました。救給カレーは暗い中でも美味しいことを実感!

⑦ 東京都練馬区立八坂中学校

7月1日、練馬区教育委員会一斉防災訓練に合わせて実施。具沢山防災みそ汁、おにぎりを添えて。



⑧ 山梨県笛吹市役所

笛吹市は地震などの災害時に備え、市内の全小中学校19校に備蓄食料として「救給カレー」児童生徒と教職員分の6,400食を配備しました。1年間備蓄したカレーは防災教育に役立て、新しいものと入れ替えます。

⑬ 和歌山県新宮市立神倉小学校

9月3日、紀伊水道大水害の発生した日に防災給食を実施。野菜スープ、キャロットケーキ、ヨーグルト、牛乳と。



⑲ 沖縄県多良間村立学校給食共同調理場の受配校、那覇市立金城小学校、県立西崎特別支援学校

「沖縄県広域地震・津波避難訓練の日」(H27.11.5)に合わせてそれぞれ使用予定です。

南から



救給カレーの活用事例いろいろ

● 3月11日の献立

救給カレー、牛乳、ポトフ、チーズ、バナナ



提供:山梨県 南アルプス市立豊小学校 小泉眞智子先生
笛吹市立石和南小学校 川手鶴子先生

● 9月1日の献立(中学生向け)

救給カレー、牛乳、わかめごはん(おにぎり)、ラビオリスープ、プチトマト、ラフランスゼリー



提供:熊本県 八代市西部学校給食センター 福岡ちづる先生

● 7月1日の献立

救給カレー、牛乳、自分でおにぎり、具沢山防災みそ汁、冷凍みかん



練馬区教育委員会一斉防災訓練に合わせて実施

提供:東京都 練馬区立八坂中学校 飯島敬子先生

● 9月3日の献立

救給カレー、牛乳、野菜スープ、ヨーグルト、手作りキャロットケーキ



紀伊水道大水害から3年に合わせて実施

提供:和歌山県 新宮市立神倉小学校 真砂美紀先生



<備蓄事例>

- 長野県赤穂学校給食センター(1,600食分の備蓄)
 - ・オール電化の施設のため、停電時の対応として備蓄
 - ・予算は教育委員会より別途預く
- 宮崎県の門川小学校(480名)および門川中学校(630名)では、来年3月11日に防災教育を兼ねて救給カレーを出す予定。それまでの間に必要となる出来事が発生した場合は、備蓄在庫を使用。

※この事例のほか、9月9日(救急の日)に利用されたり、県立高校での防災訓練で活用されています。また、県学校給食会でも、県内の不測の事態に備えて在庫していただいているところもあります。